



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月7日

東・福

上場会社名 株式会社リード

上場取引所

コード番号 6982

URL <https://www.lead.co.jp>

代表者（役職名） 取締役社長

（氏名） 岩崎 元治

問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長

（氏名） 田口 英美

TEL 048-588-1121

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,478	64.8	△29	—	△11	—	△13	—
2026年3月期第1四半期	897	△6.5	△69	—	△41	—	△42	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△5.40	—
2026年3月期第1四半期	△16.67	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	8,531	2,522	29.6
2026年3月期	8,705	2,545	29.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 2,522百万円 2026年3月期 2,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	3,220	80.5	10	—	10	—	5	—	1.93
通期	6,660	29.5	80	—	80	—	60	—	23.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	2,632,960株	2026年3月期	2,632,960株
2027年3月期1Q	43,244株	2026年3月期	43,244株
2027年3月期1Q	2,589,716株	2026年3月期1Q	2,578,916株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、中東情勢の悪化等地政学リスクの長期化や資源エネルギー価格の高騰、米国の通商政策、国内の物価上昇等の影響により、景気の先行きは依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比4月が9.4%減、同5月が19.8%減、同6月が12.3%減と減産が続いております。

このような経済環境の中で当第1四半期累計期間の売上高は、自動車用部品部門において、前期に量産を開始した部品の受注が増加したことを主因に1,478百万円(前年同期比64.8%増)となりました。

損益面につきましては、上記のとおり自動車用部品部門の受注が増加したものの、中東情勢の悪化に起因する石油並びに、石油由来の各種原材料の供給懸念を発端とした予想を大幅に上回る世界的な価格上昇等の利益圧迫要因があったこと、また、駐輪部門については大口案件の受注が減少したことにより、営業損失は29百万円(前年同期は営業損失69百万円)となりました。

営業外収益は受取配当金21百万円、受取賃貸料8百万円、スクラップ売却益6百万円等により37百万円、営業外費用は支払利息16百万円等により20百万円を計上し、経常損失は11百万円(前年同期は経常損失41百万円)となりました。また、特別損失は固定資産売却損1百万円、固定資産除却損1百万円を計上し、その結果、四半期純損失は13百万円(前年同期は四半期純損失42百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、前期に量産を開始した部品の受注が増加したことを主因に1,462百万円(前年同期比75.9%増)となりました。

損益面につきましては、上記のとおり受注が増加したものの、中東情勢の悪化に起因する石油並びに、石油由来の各種原材料の供給懸念を発端とした予想を大幅に上回る世界的な価格上昇等の利益圧迫要因もあり、セグメント損失(経常損失)は、0百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)61百万円)となり、前年同期と比べ赤字幅は縮小いたしました。

②自社製品

当セグメントの売上高は、駐輪部門における大口案件の受注が減少し、15百万円(前年同期比57.9%減)となりました。

損益面につきましては、セグメント損失(経常損失)は17百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)6百万円)となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は6百万円(前年同期比16.2%減)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

④その他

電子機器部門は2025年6月に撤退いたしました。

前年同期売上高は28百万円、前年同期セグメント利益(経常利益)19百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前期末比174百万円減少し8,531百万円となりました。

・資産

流動資産は、現金及び預金が180百万円、その他のうち立替金が34百万円増加し、受取手形及び売掛金が216百万円、電子記録債権が26百万円、その他のうち未収消費税等が62百万円及び未収入金が13百万円減少したこと等から104百万円減少し2,755百万円となりました。

固定資産は、建物が12百万円、工具、器具及び備品が63百万円、リース資産が29百万円減少したこと等から有形固定資産は94百万円減少し4,643百万円となり、また、投資有価証券が26百万円増加したこと等から投資その他の資産は24百万円増加し1,130百万円となりました。その結果、固定資産全体では70百万円減少し5,775百万円となりました。

・負債

流動負債は、未払金が77百万円、その他のうち未払消費税等が39百万円増加し、支払手形及び買掛金が103百万円、短期借入金が25百万円減少したこと等から2百万円減少し2,716百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が50百万円、その他のうちリース債務が32百万円及び長期契約負債が69百万円減少したこと等から148百万円減少し3,292百万円となりました。その結果、負債全体では151百万円減少し6,009百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が25百万円、第1四半期純損失が13百万円となり利益剰余金が39百万円減少し、また、その他有価証券評価差額金が16百万円増加したこと等から23百万円減少し2,522百万円となりました。これにより自己資本比率は29.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,532,909	1,713,746
受取手形及び売掛金	820,791	603,902
電子記録債権	32,805	6,797
製品	39,145	36,148
仕掛品	28,636	28,878
原材料及び貯蔵品	222,149	227,312
その他	183,477	138,833
流動資産合計	2,859,916	2,755,618
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,225,568	1,212,572
構築物（純額）	27,884	32,427
機械及び装置（純額）	522,756	525,955
車両運搬具（純額）	3,775	3,451
工具、器具及び備品（純額）	594,797	531,232
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産（純額）	666,623	636,958
建設仮勘定	38,399	42,742
有形固定資産合計	4,737,674	4,643,209
無形固定資産		
ソフトウェア	2,102	1,940
無形固定資産合計	2,102	1,940
投資その他の資産		
投資有価証券	995,629	1,021,682
その他	110,668	109,089
投資その他の資産合計	1,106,298	1,130,772
固定資産合計	5,846,075	5,775,922
資産合計	8,705,991	8,531,540

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	457,088	353,685
短期借入金	1,596,329	1,571,052
未払金	134,489	212,001
未払法人税等	6,848	4,026
賞与引当金	20,000	25,000
その他	504,906	551,065
流動負債合計	2,719,661	2,716,830
固定負債		
長期借入金	1,873,129	1,822,586
退職給付引当金	91,775	88,551
資産除去債務	50,966	50,967
その他	1,424,984	1,330,378
固定負債合計	3,440,856	3,292,482
負債合計	6,160,517	6,009,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	216,486	216,486
利益剰余金	327,164	287,286
自己株式	△23,998	△23,998
株主資本合計	1,177,892	1,138,014
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	406,605	423,236
土地再評価差額金	960,976	960,976
評価・換算差額等合計	1,367,581	1,384,212
純資産合計	2,545,473	2,522,227
負債純資産合計	8,705,991	8,531,540

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	897,065	1,478,108
売上原価	821,777	1,356,573
売上総利益	75,287	121,534
販売費及び一般管理費	144,496	150,987
営業損失(△)	△69,209	△29,453
営業外収益		
受取利息	357	523
受取配当金	22,520	21,793
受取賃貸料	10,086	8,819
スクラップ売却益	8,713	6,000
その他	716	731
営業外収益合計	42,394	37,869
営業外費用		
支払利息	11,872	16,863
賃貸費用	2,780	2,750
その他	100	759
営業外費用合計	14,753	20,373
経常損失(△)	△41,567	△11,957
特別利益		
固定資産売却益	73	—
受取保険金	—	575
特別利益合計	73	575
特別損失		
固定資産売却損	—	1,061
固定資産除却損	1,286	1,338
投資有価証券売却損	4	—
特別損失合計	1,290	2,400
税引前四半期純損失(△)	△42,785	△13,782
法人税、住民税及び事業税	205	205
法人税等調整額	△6	△6
法人税等合計	198	198
四半期純損失(△)	△42,983	△13,980

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	80,574千円	170,464千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	合計		
売上高						
一時点で移転される財	797,961	31,246	—	829,207	28,111	857,319
一定の期間にわたり移転される財	33,156	6,589	—	39,745	—	39,745
顧客との契約から生じる収益	831,117	37,835	—	868,953	28,111	897,065
セグメント利益又は損失(△)	△61,596	△6,354	7,239	△60,712	19,144	△41,567

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子機器事業であります。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			
	自動車用部品	自社製品	賃貸不動産	合計
売上高				
一時点で移転される財	1,318,947	8,131	—	1,327,079
一定の期間にわたり移転される財	143,219	7,809	—	151,029
顧客との契約から生じる収益	1,462,167	15,941	—	1,478,108
セグメント利益又は損失(△)	△735	△17,290	6,069	△11,957

- (注) 1. 「賃貸不動産」については、収益及び費用とも営業外で処理しております。
2. 「セグメント利益又は損失(△)」の合計額は、四半期損益計算書の経常損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期累計期間において「その他」に含まれていた電子機器事業について、当該事業から撤退したことに伴い、当第1四半期会計期間より「その他」の区分を廃止しております。